

はにい 仲良くなるためには？

平成27年12月1日



「ねえ、みんな！この前の授業で誰かが言ってくれたんだけど、みんな、自分の【小さな友だち】をクラスのお友達に紹介してみたいですか？」

「紹介したい！」

「お話ししたい！」

「すごく仲良くなれているから見せたい！」

「そうですか。それでは発見したことや仲良くなれているところを紹介しましょう！」

と始まった生活科の授業。

熱弁を振るう子ども達の表情は真剣そのもの。

「こっちがトノサマバッタでこちらはツチイナゴ」

「ほら、この目のところに黒いカーブがあるんだ」

「おしりと触覚を触ると嫌がるから触っちゃダメ」

【小さな友だち】と一緒に、仲良くなる秘訣を紹介する。

「うちのメダカは、背中が茶色っぽいんだよ」

「ほらみて、ここ、ここ！」

「暗いところにいるからかな？」

「水が濁っていて安心しているんだよ」



「僕のカマキリは、草がいっぱいあるところにいたからそんな感じになっている」

「食べ物はバッタだから、入れてある」

その時、自称バッタの【大きな友達】から声が上がった。

「え？バッタ？」

「そうだよ、バッタは草を食べるいのち。

カマキリは、バッタを食べるいのち。ほらこんな風に・・・」

「ひーっ！それはやめて！」

【小さな友だち】の紹介は、大きな壁にぶつかった。

『はにい』はコミュニケーションツールです。 みんなで語り合しましょう。
ご意見・ご感想は inochi4027@pref.kanagawa.jp